お兄さん… 男にこういう事されるの初めての人？
こっちの穴なんか
ああ やめ…！
ギチギチに締め付けてくるもんな？
んあ

じゃこの奥の気持ちいトコ知ってる？
ぁあぁっ
んぉぉぉ♥
軽く突っついただけで潮吹いちゃうなんてお兄さんめっちゃ可愛いな！益々、虐めたくなっちまう♥

この"ちんこ"には
初めてでも
沢山気持ちよく
なれる薬が
塗り込んである

ぐぐん

ぬぅ。

うあっ。

ぐぐ

だから
お兄さんは
安心して
このちんこを

ぐぐ

じゅぷ。。。

奥の奥まで
受け入れて
くれればいい！

ぐぐ

ぐぐん

ぐぐ

ぐぐ

じゅぷ。。。

おっ
おお

そしたら
気が
おかしくなる程の
快感を
与えてあげるから♥

ぐぐぐぐぐぐ

ぐぐぐぐぐぐ

ぐぐぐぐぐぐ

…行方不明の
甥っ子なんだ
そもそも事件性も
まだ何ともって
ところらしくて

まあ
色々調べてたら
こんなの出てきて…
どーしたもんかってな

ビリ

ビリ

え？

すいません！俺…
なんか
軽口聞いちゃって

ばっ

すいません!!

ぽん

いいって
そんな謝んな

いつも気にしてくれてありがとな 臣
今度、ゆっくり飯行こうな！

上條先輩…

わーん。

ぐらぐらー

んあっ

色々と聞き込みをした
結果…――

ここのサウナで
黒服の男達に捕まり
何処かに
連れて行かれたという
情報をキャッチした

サ

まさか、最後の目撃情報が
都内だなんて…
まあ、コッチにとっては
都合はいいけど

なんか 意識したら

勃ってきちゃった

ぐぐん

ぐぐ

ぐぐ

ぐぐ

ウソっ…!?
早速食いついた!?

ああっ

もしかして
俺達に、慰めて
欲しかったりして？

乳首も
コリッコリ♥

んあぁ、

お兄さん
軽く弄っただけなのに
反応良すぎ！
もっと虐めたく
なっちゃうじゃん？

これ・・
突っ込んだら

悦がり狂っちゃうかもよ♥
ずぐ
ずぐ
ずぐじゅ
じゅちゅう
あくっ
じゅぢ
あっ
ずぐ
じゅちゅ
じゅちゅ
あぁ

何!? これ きっちいっ…
んおおお
でるでるっ 出るう〜っ!!
クッソ… 何コイツ 悦すぎんだろ! 思わず イっちまった!!
堪んねえな! この兄さん、ほれっ そのいやらしい唇で 早くちんぽ咥えな!

おっ!?
抜かずのリベンジな！昇天させてやる
俺…男の人のちんこしゃぶってる…!?
ほら！喉奥までしっかりちんこ咥えこんで…
締め上げんだよ!!
ごおっ
おっ

おおくぅぅぅ
ぐん
じゅぷ
ぐぐ
射で精る〜っ!!
ぐぐ
ごく
ごく
俺…喉鳴らしながら
男の人の精液飲んでる
んあ♡
ぐぐ
さあ、今度はコッチの番！さっきは不覚を取ったからなお兄さんが、スケベなのが悪いんだぞ？
ぐぐ
ぐん
んあ!?

おんおおぉ♥

ぐぐん

ぐぐ

ぐゅぐゅ

ぐぐん

ぐぐ

よし
このまま―

んあ？

抜かないまま
鬼頭を 撫でる！

優しく軽く扱き！

ぐにぐにしゅぐぐ

んあっ？

ぐんぐん

なに？

ぐぐ

ヌルヌルのザーメンで先っちょを撫で付けながら……——

ぐんくりゅにぐりゅぐ

ずっぐりにぐりゅにゅぐ

ゆっくり…奥まで入ったちんこを引き抜いていく

ナニ？ぐぐ

なに？

ぐぐ

何？

ぐにゅにゅにゅぐ

おおおおお

ぶるるる

ぶるん

意識が
ブッ飛ぶくらいの
快感だったろ？
病みつきになるぞ
お兄さん

もう…、
このちんぽ
無しじゃ
生きられなくなる！

ぶるん

ぶるん

ぶるん

ぶるん

ぶるん

ぶるん

おぉ！

こんにちは！むなかたです。

この度は【潜入捜査官中出しレイプ事件】をご購入ありがとうございます♡

やってみたかった捜査官モノ…
ということで、単純に刑事モノがやりたかったんですよね。

刑事が出てくると、今まで描いてきた作品に接点を持たせられると思っていた訳で
まあ、あんまりこの作品は、こーしよあーしよとは特に考えもなく
情熱のままに進めておりますので(決して適当ということではなく)
やはりその時の気分に左右されてしまうのは否めない(汗)

なので、やりたいようにやっていくと収集もつかなくなっていくという…。
で、はよ回収していきたいなという思いに至って今作になります。

表向きは〝先輩×後輩〟の恋愛モノとしておりますが
裏では男の娘を狙った中出しレイプ魔が、ゴロッと暗躍してるので
まあ今回の主人公、臣は成人男性ではありますが
可愛いと組織に狙われてしまう訳で〝むなかたの今までの男の娘漫画〟を繋ぐパイプ役になるんじゃないかと思ってます。

裏の組織のも、ちょこちょこ描いてるやつにそれらしいのが出ていると思うので
良かったら読んでやってくださいまし。

(中出しレイプ事件)が販売された週末には
pixivにて(中出しレイプ事件②)が始まりますので
どうぞよろしくお願いいたします。

発行日 2025年 09月18日
発行者 Bの食卓(むなかた仁)

無断転載禁止
Do Not Repost